# 木崎安和教授略歷·著作目録

歴

略

九七一年

三月

九七二年 四月

金沢大学法文学部法学科卒業

明治大学大学院法学研究科修士課程入学

明治大学大学院法学研究科修士課程修了

明治大学大学院法学研究科博士後期課程

入学

四月 三月

明治大学大学院法学研究科博士後期課程中途退学

二月

月

七月

熊本大学講師法学部 熊本大学助教授法学部(民法) (民法)

四月 熊本大学教授法学部 (民法)

九九三年 九八三年 九八一年 九八一年 九七七年 九七六年

# 学会等の活動

五月

日本法社会学会会員

民主主義科学者協会法律部会会員

一〇月 日本私法学会会員

九八〇年 九七七年 九七二年 九七二年

> 五月 五月

日本農業法学会会員

(一九九八年一一月~二〇〇七年

理事

九八二年

四月

九州法学会会員

525 (熊本法学130号 '14)

## 九八八年 九九五年 六月 一月 日本土地法学会九州支部会員 日本住宅会議会員

### 著 作 目 録

丑

著

日本科学者会議編 『テクノポリスと地域開発』(第二部Ⅳ「テクノポリスと土地問題 熊本にみる若干の事例

担当) 大月書店

借 地 ・借家制度の 研究 九八 第一 編 五年 精通者の意向』(第三部Ⅰ課題別研究第五章「借地契約の終了と借地上建物賃

玉田弘毅・米倉喜一郎編『マンションの裁判例』 借人の保護」 担当) 日本住宅総合センター (二)~五頁、 借地借家制度調查会 一二〇~一三一頁、二〇五~二〇七頁担当) 九八 九年 有斐閣

九九七年 〔第二版〕 一九九九年

### 論 文

「一九世紀初頭のプロ イセンにおける土地所 有権 『土地所有』 0) 『労働力』 把握を媒介する法的形態を通じて

「ドイツ民法典成立前の農地賃貸借法に関する覚え書 法社会学 三一号 九七九年

農場とその属具を中心として―

明治大学大学院紀要

九八

# 八集 $\widehat{\underline{\phantom{a}}}$ 一九八一

「一九世紀プロイセンにおける農地賃貸借法 |借地契約の消滅と借地上建物賃借人の地位 (一)(二・完)」熊本法学 (一)(二)(三・完)」熊本法学 三五号、三七号 四七号、 四八号、 九八三年 五〇号

六年

借 の期 間満了と借地上建物賃借人の地位 定期借地権の検討 熊本法学 五七号 九八八年

の利害調整」 法律時間 報 六一 卷七号

借地契約終了時 九 八九年

裁判例

の検討から

熊本大学法学部創立十周年記念

政治学の 諸 相

借地

0)

期間満了と借地上建物賃借人の保護

所収、 成文堂 九九〇年

定期 任期 制導入の必要条件 借地権付住宅をめぐる若干の問題点」『「人々と進む」弁護士千場茂勝の七○年』所収、一 特に法的視点から 日本の科学者 三三巻一 号

借家契約における特約の効力 特に更新料特約の効力について」『新 ·借地借家法講座 第三巻』 所収、 日本

九

九八

九九六年

評論社 九九 九年

居住用建物賃貸借契約における更新料支払特約と法定更新

最判平 成二三年七月一 五日は何を判示したのか 熊本口 1 ジ ヤ 1 ナル 七号

### 判 例研究

借 |地権者と借地上建物所| 有者とが異なる場合における土地賃借権譲 渡許可申立と賃貸人による優先買受の予備

申立 (大阪高決平二・三・二三)」 私法判例リマークス 三号 九九一年

# (調査報告)

昭 和 五五年度未墾地賃貸借事業事例調查報告書』 (福島県布引地区担当) (共同執筆) 全国農地保有合理化協会

### 九八一 年

丽 和 **光** 年度開拓未処分地実態調查報告書』 (長崎県担 当 全国開 拓振興協 九八七年

527 (熊本法学130号 '14)

丽 。昭和六三年度開拓未処分地実態調査報告書』 和六二年度開拓未処分地実態調査報告書』 (宮崎県担当) (熊本県担 当 全国 全国開拓振興協会 開 拓振興協 九八九年 九 八八八年

翻訳](共訳)

西ドイツにおける住宅建設一九七六 傾向 特徴 ・金融 -』住宅産業開発協会政策委員会 一九七九年

一九七六年九月一日付文言による―

住宅産業開発協会政策委員会

九七九

年

西ドイツの第二住居建設法

西 [ドイツ農地賃貸借制度改革に関する資料] 田 山輝明 編 監訳 『西ドイツの新用益賃貸借法制 農林水産省構造改善局 民法典・小作法の改正 農政 部 九 七 九

早稲田大学比較法研

所 九八六年 所 収

西ドイツにおける農地相続制度関係資料』農林水産省構造改善局農政部 九七九年

芾 建設的措置 田 Ш 輝 明 監 の準備および実施における都市建設促進法の施行にかかわる市町村行政 訳 『西ドイ ッ の農家相続 法制度の歴史と現状 成文堂 九 0) 八 経験 四 年 国土庁 所 九八

〇年

都

**そ** の 他

学会動向」 (共同執筆) 農業法研

書評 渡辺洋三・稲本洋之助編 『現代土地法の研究』 究 一三号 九七八年 下巻」 農林水産図書資料月報

三四巻

一〇号

九八三

年

(熊本法学130号 '14) 528